

引き続き実施いたします。

情報ネットワークについては、社会保障・税番号制度による行政手続きや行政事務の電子化に対応し、電子申請の充実を含めオンライン化を進めます。

また、防災行政無線やIP告知情報端末等の適切な管理に努め、町民の皆さんが、より行政情報を得やすい運用を図ってまいります。

多彩な資源が輝き、 活力と魅力にあふれるまち

漁業振興については、沖合漁業が厳しさを増す中、今後、安定的な生産を維持するためには、これまで以上に沿岸漁業振興を推進する必要がありますことから、厚岸漁業協同組合と連携し、カキ、アサリ、コンブ等沿岸漁業の資源管理・増殖を進めるとともに、国や北海道、厚岸漁業協同組合、研究機関と連携し、将来、厚岸海域において増養殖が可能な新たな魚種の模索と検討を進めてまいります。

また、厚岸漁業協同組合が行う『弁天かき』の種苗生産に必要な幼生・餌料の提供、知識・技術面での協力を行うとともに、コンブ漁場改良事業などの各種沿岸増養殖事業を引き続き支援してまいります。

漁港の整備については、厚岸漁港において国による航路浚渫が行われ

るほか、床潭漁港における泊地の静穏域確保に向けた防波堤の早期整備を引き続き北海道に要望してまいります。

海岸保全対策については、対策が必要とされる箇所の早期着工を引き続き北海道に要望してまいります。

カキ種苗センターについては、カキの飼育や藻類培養の各設備を適切な維持管理と運用を行い、引き続き生産者に良質かつ安定した種苗供給を行ってまいります。

また、近年、生産者の努力により『カキえもん』の流通量が増えてきており、今後もさらなる収益向上が見込めることから、生産者の所得向上



にも繋げていけるよう、産品の魅力をさらに高めるための周知活動に取り組みとともに、試験研究機関の協力を得ながら、生産者と共に、高品質なカキを効率よく養殖する技術を確立するための取り組みを進めてまいります。

農業については、今後も良質な粗飼料を安定的に確保するため、道営事業による釧路太田東部地区、釧路太田西部地区、町営牧場大別地区の草地整備事業を引き続き実施してまいります。

また、農作業の負担軽減と持続的な酪農経営推進のため、釧路太田農業協同組合で運営するコントラクター事業に用いる作業機械の導入や、浜中町農業協同組合がトライベツ地区に配置する農業機械の導入を支援してまいります。

担い手対策については、引き続き関係機関と連携し、新規就農者の誘致促進を図ってまいります。

中山間地域等直接支払事業と多面的機能支払事業については、地域に根ざした効率的な事業展開が図られるよう、引き続き支援してまいります。

酪農地域の減災対策と家畜ふん尿管理の適正化対策については、引き続き釧路太田農業協同組合と検討を進めてまいります。

家畜防疫については、厚岸町家畜



自衛防疫協議会が行う予防注射や各種検査を支援するほか、牛ウイルス性下痢・粘膜病の感染予防のため、町営牧場・隔離牛舎の衛生管理の徹底を図ってまいります。

町営牧場については、より適正な預託牛の育成・管理を図るため、冬期舎飼で使用する給水施設の改修に着手するほか、牧草収穫等作業機械の大型化や作業環境の整備、飼養管理技術の向上に取り組むとともに、平成18年度以来となる牧場使用料の改定について検討してまいります。

町有林の整備については、安定した事業量の確保と林業就労者の雇用を図るため、計画的な森林施業を進めてまいります。